

# セットアップ手順

以下の2種類のアップデートの適用が必要になります。

アップデート名	対象OS
I.クライアントシステム アップデート	Windows 7、8、8.1、10
II.サーバーシステム アップデート	Windows 7、8、8.1、10

## 1.スタンドアロン環境（データ、マスタも同じP C）

I、IIのアップデートを実行します。

## 2.クライアントサーバー環境（データ、マスタが異なるP C）

### ①クライアント環境でのセットアップ

Iのアップデートを実行します。

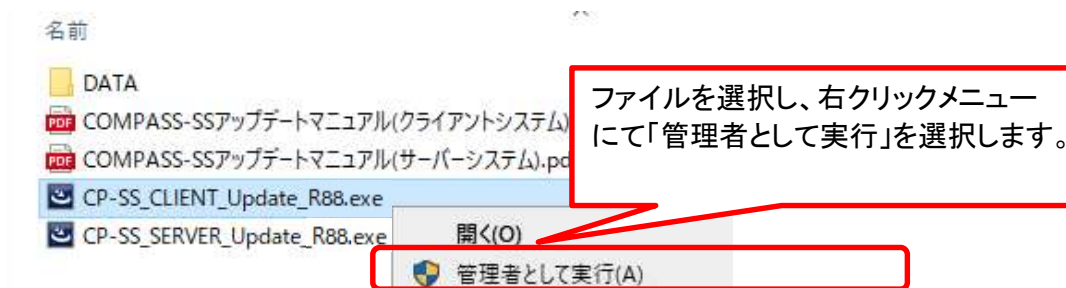
### ②サーバー環境でのセットアップ

IIのアップデートを実行します。

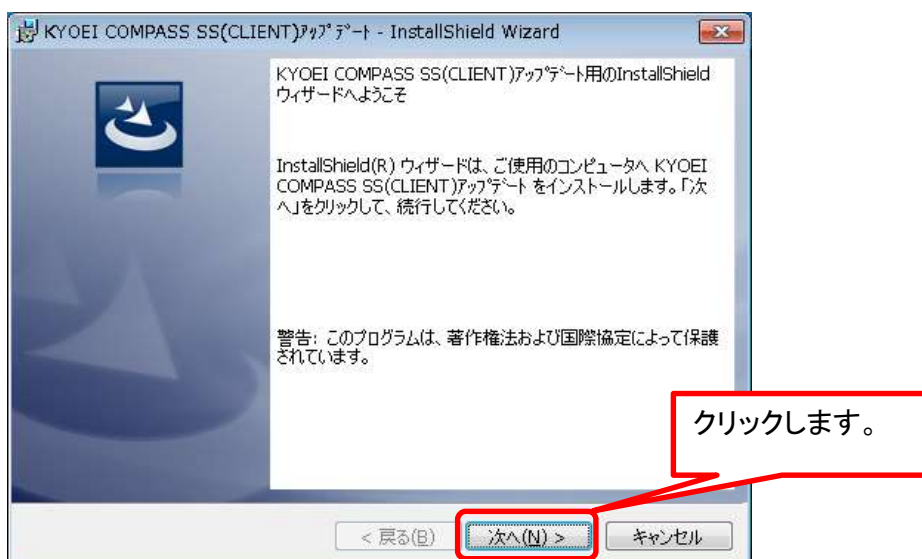
## クライアントシステム アップデート

管理者権限のあるユーザーにてインストールしてください。

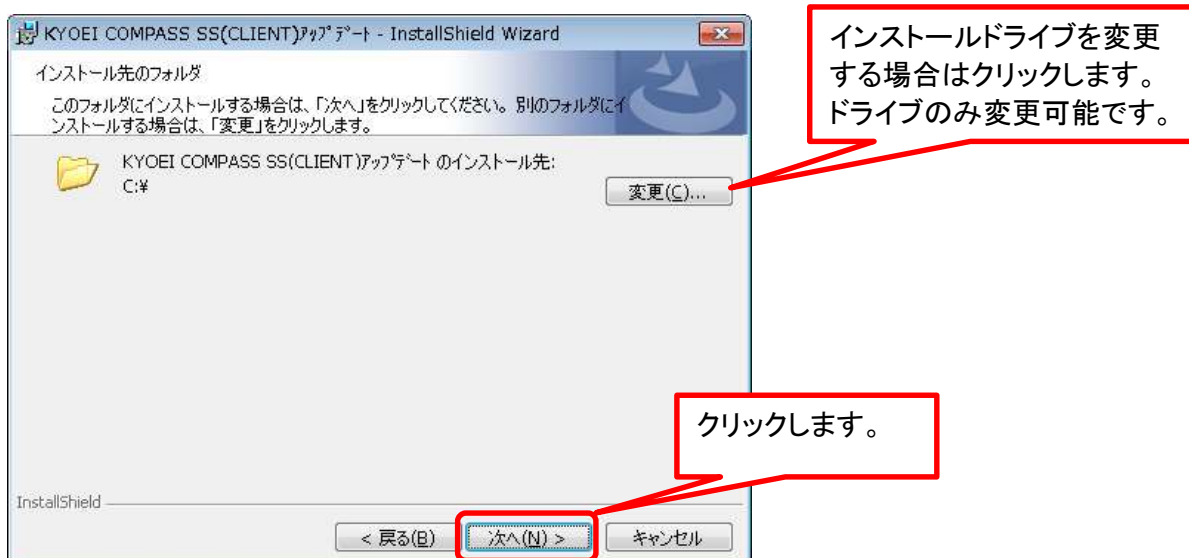
1. ダウンロードした「CP-SS\_CLIENT\_Update\_R108.exe」を「管理者として実行」します。



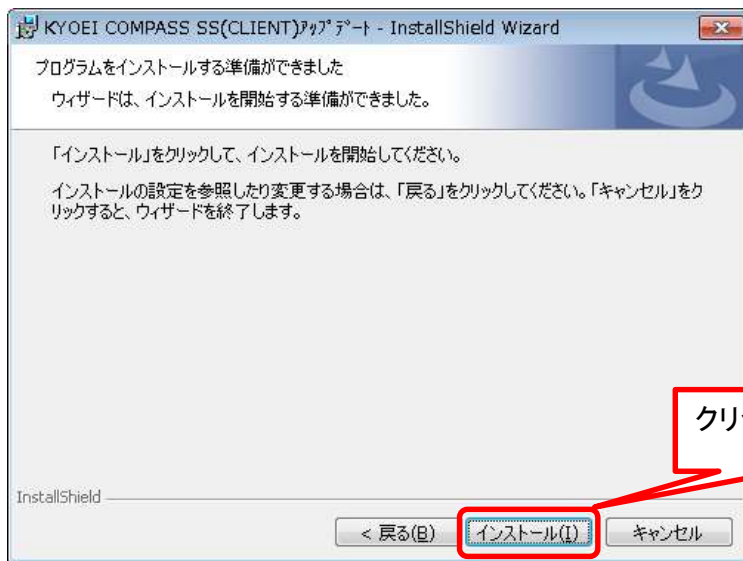
2. アップデート画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



3. インストール先のフォルダ画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



## 4. 「インストール」をクリックします。



以上で終了です。

KYOEI COMPASS SS ソフトウェア修正情報

NO.	項目	内容														
			1.0.0.81	1.0.0.82	1.0.0.83~90	1.0.0.91~92	1.0.0.93~97	1.0.0.98~102	1.0.0.103	1.0.0.104~106	1.0.0.107	1.0.0.108				
154	シミュレーション	NET以外で総額固定シミュレーションを行うと数量×単価の横計算が合わなくなる場合がある。	○													
155	割掛け	明細を持たない集計階層に直接金額が入力されている行が割掛けされない。	○													
156	プロジェクト物件一覧画面	物件の絞込みで絞込した直後に、スプレッドにプロジェクトや物件が表示されない場合がある。(フォルダツリーを選択しないと表示が更新されない)	○	○												
157	プロジェクト物件一覧画面	担当物件のみ表示/全物件表示切り替えるとプロジェクト、物件が表示されなくなる(一旦 検索機能や絞込機能を使用したあとでないと、担当物件表示が機能しない)	○	○												
158	BCSファイル出力	BCSファイル出力画面に「部位は名称下段の前に出力する」のスイッチを追加しました。	○	○	○											
159	見積書印刷EXCEL出力 データ提供EXCEL出力	全角半角のみ異なる集計階層名称(例 コンクリート工事、コンクリート工事)があると、計算式が誤ったシートのセルを参照した計算式になる場合がある。	○	○	○	○										
160	データ提供	COMPASS標準CSV出力を追加しました。	○	○	○	○	○									
161	見積書印刷 データ提供EXCEL出力	コメントPまたは参考計が階層末尾にあり、その前行に空白行がある明細を印刷すると不要な空白行が出力されてしまう問題を修正。	○	○	○	○	○									
162	明細編集	名称、規格欄で文字入力後にEnterで次項目へ移動する処理速度を改善しました。	○	○	○	○	○	○								
163	プロジェクト物件一覧画面	NET金額(税抜)、提出金額(税抜)の表示速度を改善しました。	○	○	○	○	○	○	○							
164	明細編集	キーボード押下後の待ち時間を短縮しました。	○	○	○	○	○	○	○	○						
165	明細編集	カーソル移動が縦の時、新規行の作成速度を改善しました。	○	○	○	○	○	○	○	○						
166	プロジェクト物件一覧画面	プロジェクト・物件一覧のフォルダ切替速度を改善しました。	○	○	○	○	○	○	○	○						
167	プロジェクト物件一覧画面	スタンドアロンとC/Sで切り替えてログインすると、物件が表示されない場合がある。	○	○	○	○	○	○	○	○						
168	プロジェクト物件一覧画面	ごみ箱を空にするの処理時間を改善しました。	○	○	○	○	○	○	○	○						
169	明細編集	他物件単価セットの処理速度を改善しました。	○	○	○	○	○	○	○	○						
170	データ提供	COMPASS標準TXT出力時、備考3の下段が出力されない現象を改善しました。	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
171	Web認証	COMPASS 2.0の契約番号でCOMPASS SSの認証が行えるように対応しました。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				

※ 上記○印がお使いの製品バージョンによって発生する現象になります。

製品バージョンは、プロジェクト・物件一覧画面のオプションより確認することができます。



インストール後は、1.0.0.108になります。